

# 目次

## CONTENTS

理事長挨拶 2

### ■ 奨学事業

3

渥美奨学金の概要 4

2015 年度渥美奨学生（21 期生）研究報告会 5

2016 新年会 7

工事現場見学会 7

ラクーン会 8

### ■ 国際交流事業

9

SGRA の概要 10

#### 海外研究交流活動

第 5 回 日台アジア未来フォーラム 11

第 9 回 SGRA チャイナ・フォーラム 12

第 20 回 日比共有型成長セミナー 13

第 15 回 日韓アジア未来フォーラム 14

#### 国内研究交流活動

第 49 回 SGRA フォーラム 15

第 50 回 SGRA フォーラム 16

第 4 回 SGRA ワークショップ in 蓼科 17

第 4 回 SGRA ふくしまスタディツアー 18

第 7 回 SGRA カフェ 19

第 8 回 SGRA カフェ 19

### ■ 財団運営

業務日誌 20

財務諸表 21

財団人名簿 22

奨学生名簿 23

2015 年度の活動にご協力いただいた皆様 28

## ご挨拶

理事長 渥美伊都子

2015年度はアジア未来会議を開催しないので、通常の奨学事業と SGRA の活動を中心とした国際交流事業、そして IT 環境などの基盤整備を行いました。設立当初より毎年奨学生の皆さんからお送りいただいている発表論文リストをデータベース化し、渥美財団のホームページから検索できるようになりました。また奨学生の皆さんのご著書を集めたラクーン文庫もデータベース化して、ホームページから検索できるようになりました。



毎年 12 名というささやかな奨学事業ですが、「継続は力なり」で、2016 年度奨学生を加え、総数 265 名になります。奨学期間を終えた渥美奨学生の皆さんが、私の主人が生前に手遊びに描いていた狸に因んで名付けた「ラクーン会」という同窓会を立ち上げてくださり、世界中に広がる知日派研究者を結ぶ基盤ができました。

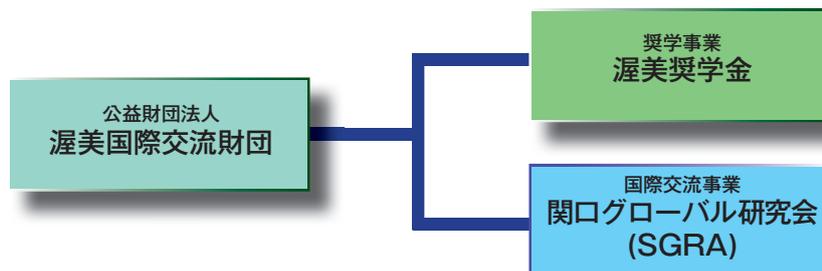
設立 5 年目に、このネットワークを活かして関口グローバル研究会 (SGRA) を立ち上げました。関口は当財団事務局のある土地の名前で、ここからグローバルに知日派研究者の声を発信していこうという意気込みです。日本と 4 か所の海外拠点で、毎年、フォーラムやシンポジウムを開催し、レポート、ホームページ、メールマガジン等で発信しています。

さらに、これらの事業の集大成となるのがアジア未来会議です。渥美奨学生に限らず、日本留学経験者や日本に関心のある若手・中堅の研究者が一堂に集まり、アジアの未来について語り合う場を提供することを目的としています。第 3 回アジア未来会議は、今年の秋に北九州市で開催します。「環境と共生」という総合テーマのもと、多くの研究論文の発表が行われ、国際的かつ学際的な議論が繰り広げられますので、興味のある方はご参加ください。

おかげさまで当財団がつつがなく発展できましたのも、設立当初よりご支援くださいました多くの方々のお励ましによる賜物と心より感謝申し上げます。厳しい国際情勢の中で、今後ますます大事なものはこのような草の根の交流であると思います。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### 渥美財団のふたつの公益事業

渥美財団の事業は大きくふたつに分かれます。奨学事業と国際交流事業 (SGRA) です。



# 奨学事業

## 奨学事業からネットワークへ

**渥** 美財団は、奨学生の皆さんが自分とは異なることをしている人と会い、自分の専門以外のことを話し合う場を提供したいと考え、さまざまな交流の機会を提供しています。奨学金の支給に際しても、お目にかかってお渡しし、緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行ないます。奨学期間終了後も緊密に連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的なネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。

渥美奨学生の同窓会は、渥美健夫氏が描いていた狸にちなんでラクーン会と呼ばれています。ラクーン会は世界各地で開催されています。

### 2015年度の 主な活動

- 2015年度渥美奨学生（21期生）研究報告会 p5
- 2016新年会 p7
- 工事現場見学会 p7
- ラクーン会 p8

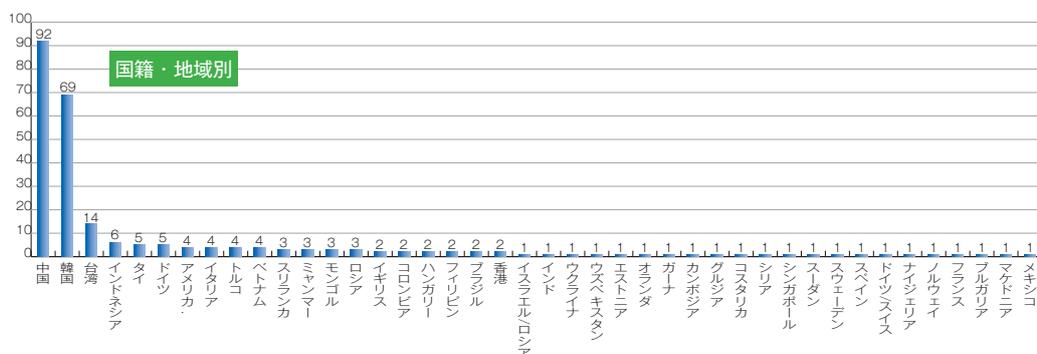
## 渥美奨学金の概要

渥美国際交流財団は日本の大学院博士課程に在籍する留学生を対象に、毎年約12名の奨学生を募集・選考し、月額20万円の奨学金を支給しています。支給年限は一年で、継続はありません。奨学生の専攻分野と国籍に制限はありませんが、一分野・地域に偏らないように配慮しています。2015年度（21期生）までに、42ヶ国・地域、253人を支援してきました（下図）。

### 渥美奨学生統計

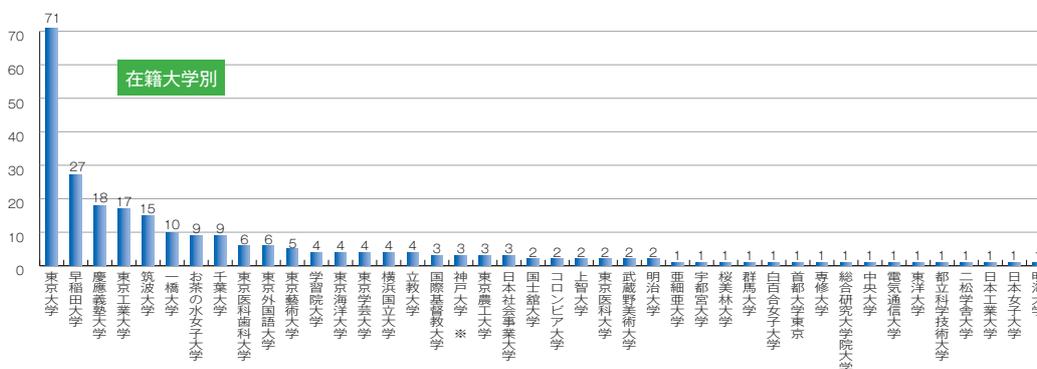
渥美財団奨学生統計表

1995年度～2015年度  
(42ヶ国・地域、253人)



1995年度～2015年度  
(42大学、253人)

※は阪神大震災被災特別奨学生



## 応募および選考

### ■ 応募資格（下記のすべてに該当すること）

1. 日本以外の国籍を有し、日本の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、或いは、他国の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。海外の大学院より博士号を取得する場合は、渥美奨学金の終了後1年以内に博士号を取得する見込みのある方。
2. 渥美奨学金受給期間、所属する大学院研究科（研究室）と居住地が、関東地方（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県）にある方。
3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある方。
4. 日本語が堪能な方。応募書類と面接はすべて日本語だけです。
5. 渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方。

### ■ 応募方法

奨学金希望者は、7月1日以後、各大学院の留学生奨学金担当課または当財団事務局まで、募集要項と申込書をご請求下さい。また、当財団ホームページからもダウンロードすることができます。応募申込は毎年9月に受け付けます。

### ■ 選考の方法

事務局における書類と面接による予備審査の後、選考委員による書類選考と面接試験により審査します。最終選考の結果は12月中旬までに通知します。

### ■ 選考の方針（抜粋）

奨学支援を機縁とした渥美財団のネットワークは、どんなにささやかではあっても世界の調和ある発展のために役立たせたいと考えております。そのため、博士論文の研究内容が人類や社会、あるいは自然との「調和ある発展」へ貢献する可能性が大きいと考えられるものを優先します。

2015 年度渥美奨学生 (21 期生)

# 研究報告会

3月5日 (土)

於：鹿島新館・渥美財団ホール

本年度・来年度の奨学生、ラクーン (元奨学生)、指導教官の先生方、来賓や財団関係者など、約 50 名の方々が集まり、2015 年度奨学生 12 名が博士論文テーマを中心とする研究成果を報告した。



渥美理事長の挨拶で報告会がスタート。2015 年度奨学生たちの努力を労うとともに激励の言葉が述べられた。



これまで研究を見守ってきてくれた方々に囲まれ、やや緊張の面持ちで自分の出番を待つ。



専門性の高い研究テーマが次々発表された。素人でもわかる言葉を選び、表現を工夫した報告が行われた。



発表後、来賓の方々よりコメントを頂戴した。写真は朴源花さんの指導教官にあたる東京大学の木村秀雄教授。



来賓から「以前にも増して質の高い研究を行う奨学生たちが増えている」とのコメントをいただき、明るい笑顔を見せる 2015 年度奨学生たち。今後の活躍に期待したい。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2016.03.05 2015 年度渥美奨学生研究報告会 参照。

# 2015 年度奨学生の発表テーマ一覧

大きな意味のある小さい物：  
尾形光琳の芸術における茶の湯、和歌、  
および能楽の関連

Feltens, Frank

フェルテンズ、フランク (ドイツ)

コロンビア大学 / 学習院大学大学院  
美術史考古学研究科  
美術史専攻



ロシア人日本語学習者を対象とした  
日本漢文教育の研究

Grib, Dina

グリブ、ディーナ (ロシア)

首都大学東京大学院 人文科学研究科  
人間科学専攻



満洲植民地建築の再考：  
民間建築と生活空間の様相

Yang, Yu Gloria

ヤン、ユー・グロリア (中国)

コロンビア大学 / 東京大学大学院  
美術史研究科  
日本近代建築史専攻



現代韓国における生命と宗教：  
人工妊娠中絶問題をめぐる議論を中心に

金 律里 Kim, Yul Lee (韓国)

東京大学大学院 人文社会系研究科  
基礎文化研究専攻



日本における女性作家の身体表象

Buriticá Alzate, Juliana

ブリティカアルサテ、フリアナ (コロンビア)

国際基督教大学大学院  
アーツ・サイエンス研究科  
アーツ・サイエンス専攻



中国中世における道教整合運動の成立と  
展開

李 穌書 Li, He-Shu (台湾)

東京大学大学院 人文社会系研究科  
アジア文化研究専攻



グラフィックデザインの視覚伝達スキルが  
切り開く、社会的弱者の創造活動を社会事  
業化するインクルーシブデザインの新しい  
地平

Cassim, Laila Frances

カセム、ライラ・フランセス (イギリス)

東京藝術大学大学院 美術研究科  
博士<デザイン専攻>



ギリシア哲学研究について：  
アリストテレスの質料形相論の  
理解に向けて

文 景楠 Moon, Kyungnam (韓国)

東京大学大学院 総合文化研究科  
博士<超域文化科学専攻>



居留地制度下 (1859年~1899年) の  
「開国日本」と「外国人」：  
開港開市場における清国人の地位と管理

趙 国 Cho, Guk (韓国)

早稲田大学大学院 文学研究科  
人文科学専攻



韓国における多文化主義の展開：  
「人権」と「ナショナル・アイデンティ  
ティ」をめぐる議論を通じて

朴 源花 Park, Wonhwa (韓国)

東京大学大学院 総合文化研究科  
国際社会科学専攻



日蓮撰『諸法実相鈔』の総合的研究

Giglio, Emanuele Davide

ジッリオ、エマヌエーレ ダヴィデ (イタリア)

東京大学大学院 人文社会系研究科  
アジア文化研究専攻



夏巧尊の日本文学翻訳研究：  
翻訳と中国のモダニティ

顔 淑蘭 Yan, Shulan (中国)

早稲田大学大学院 教育学研究科  
博士<教科教育学専攻>



# 2016 新年会

1月16日(土)  
於：鹿島新館・渥美財団ホール

財団ホールにて開催された新年会に、今年も世界各地、日本各地から多くの狸たちが駆け付けた。今年は渥美理事長の米寿のお祝いも重なり、よりいっそう交流の深まる賑やかで楽しい会になった。(米寿のお祝いの様子は p8 ラクーン会を参照)



鏡開きのセレモニー、餅つき、ピンゴゲームなどイベントも盛りだくさん。新年にふさわしい和やかな会となった。



今年の目玉は、理事長の米寿のお祝い。新年会参加者だけでなく、世界中のラクーンからお祝いが届いた。

皆で作った餃子や春巻き、シシカバブ BBQ ほか、ロシアのデザートやトルコ料理、お手製キムチの差し入れなど、国際色豊かな祝いの食卓。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2016.01.16 渥美財団 2016 年新年会 参照。

## 工事現場見学会

11月4日(水)  
於：勝どき5丁目再開発事業工事現場

平成 28 年 12 月竣工予定の東京勝どきの超高層マンション建築現場を見学した。最先端の耐震設計などが盛り込まれた総戸数 1,420 戸地上 53 階の工事現場は圧巻で、説明を受けるたびに参加者からは感嘆の声があがった。

鹿島建設の工事担当者から、工事中の高層マンションの概略と技術的な特徴を説明していただいたあと、ヘルメットをかぶり、急スピードで上昇する仮設エレベーターで高層階へ移動。東京を見渡す絶景にも感動した。



詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2015.11.04 勝どき5丁目再開発工事現場見学会報告 参照。

# ラクーン会

毎年世界各地で開催されている渥美奨学生の同窓会、通称「ラクーン会」。2015年度は、渥美理事長の米寿をお祝いする会、嶋津さんありがとうの会を主催。また、椿山荘、新宿（2回）、ソウル、ハノイ、北京（2回）でラクーン会を開催。親睦を深めあった。

1月16日（土）

## 渥美理事長の米寿をお祝いする会

新年会の席上、ラクーン主催「渥美理事長の米寿をお祝いする会」を開催した。世界各国のラクーンから寄せられたお祝い金で、四つの小さいケーキを繋げて88の数字を作ったバースデーケーキや、88本のバラでできた華やかな花束、理事長の幼少時代から結婚式までの写真をコラージュしたアルバムなどを贈呈。そのほか各地から届いたフクロウをモチーフにしたプレゼントの数々なども贈られた。スライドを使って結婚式までのご自分の歩みについて語っていただくなど、理事長を囲んでの和やかな時間が流れた。



4月18日（土）

## 嶋津さんありがとうの会

15年間、事務局長として財団を支え、大変お世話になった嶋津忠廣さんへ感謝をこめて「嶋津さんありがとうの会」を開催。奨学生・元奨学生総勢30名と財団関係者が集まり、盛大な慰労会となった。



6月15日（月）

## 2002 ラクーン会 in 椿山荘

2002年度のラクーン会を開催。ランジャナさん、孫建軍さん、于曉飛さん、今西常務理事の4名が集まった。



6月28日（日）

## 2005 ラクーン会 in 新宿

アメリカ在住の韓瑤巧さん（国立ローレンス・パークレー研究所）ご家族の来日に合わせ、2005 ラクーン会が開かれた。



9月6日（日）

## 韓国ラクーン会 in ソウル

今西常務理事、角田事務局長、南基正さん（96狸）、高熙卓さん（00狸）、朴栄濬さん（02狸）、韓京子さん（05狸）、李垠庚さん（07狸）、金キョンテさん（10狸）、鄭淳一さん（11狸）、金崇培さん（13狸）の10名が参加。



9月24日（木）

## ラクーン会 in ハノイ

今西常務理事がブ・ティ・ミン・チーさん（99狸）宅を訪問中、チュ・スワン・ザオさん（06狸）が博士号取得のニュースと一緒にサプライズで登場。久しぶりの再会を喜びあった。



10月31日（土）

## 1995 ラクーン会 in 新宿

今西常務理事を囲んで第一期（95）渥美奨学生の狸4匹（金熙、施建明、薬会、マキト）が新宿の中華料理店に集合した。



11月21日（土）

## ラクーン会 in フフホト+北京

金熙さん（95狸）、蔣惠玲さん（01狸）、孫建軍さん、朴貞姫さん（03狸）、李成日さん（06狸）、張亮さん（13狸）と、アメリカからのスペシャルゲスト張紹敏さん（97狸）と今西常務理事、計8人が集まった。



3月21日（月・祝）

## ラクーン会 in 北京大学

孫建軍さん（02狸）、解璞さん（13狸）、曹娥羅さん（16狸）、呉倩さん（孫さんの奥さん）が集まり、角田事務局長を囲んで、北京大学学生食堂で朝食ラクーン会を行った。



# 国際交流 事業

**世** 界各国から渡日し、長い留学生活を経て日本の大学院から博士号を取得した知日派外国人研究者が中心となって、個人や組織がグローバル化に立ちむかうための方針や戦略をたてる時に役立つような研究、問題解決の提言を行ない、その成果をフォーラム、レポート、ホームページ等の方法で、広く社会に発信しています。この国際交流事業を実施するのが「関口グローバル研究会（SGRA・セグラ）」です。

SGRA は、ある一定の専門家ではなく、広く社会全般を対象に、幅広い研究領域を包括した国際的かつ学際的な活動を狙いとしています。研究テーマごとに、多分野多国籍の研究者が研究チームを編成し、広汎な知恵とネットワークを結集して、多面的なデータから分析・考察して研究を行っています。その集大成となるのがアジア未来会議です。アジア未来会議は日本留学経験者や日本に関心のある若手・中堅の研究者が一堂に集まり、アジアの未来を語り合う場を提供することを目的としています。

## 海外 における研究交流活動

**現** 在4つの海外プロジェクトと隔年毎にアジア未来会議を開催。

- 第5回日台アジア未来フォーラム p 11
- 第9回SGRA チャイナ・フォーラム p 12
- 第20回日比共有型成長セミナー p 13
- 第15回日韓アジア未来フォーラム p 14

## 国内 における研究交流活動

**S** GRAフォーラム、SGRAワークショップ、SGRAスタディツアー、SGRAカフェを毎年開催。

- 第49回SGRAフォーラム p 15
- 第50回SGRAフォーラム p 16
- 第4回SGRAワークショップ in 蓼科 p 17
- 第4回SGRA ふくしまスタディツアー p 18
- 第7回SGRA カフェ p 19
- 第8回SGRA カフェ p 19

## SGRAの概要

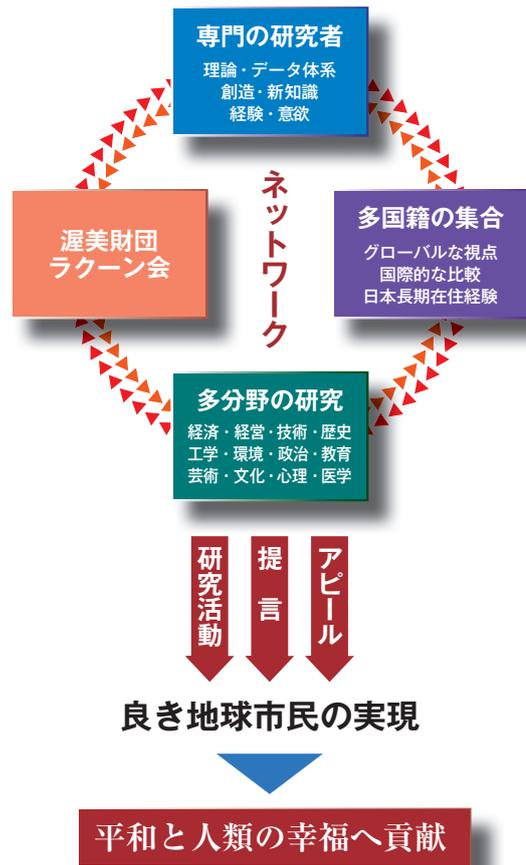


### ■ 目的・事業

本会は、「地球市民の実現」という共通の理念に基づき、一般社会・教育・文化など様々な問題について、学際的、国際的、かつ多元的な発想の研究成果を創造し、それらをもとに政策の立案、提言、実践支援及びその普及を通じて、地球市民の将来を考え、価値ある利益の増進と良き社会の発展に努めることを目的としています。

この目的を達成するため、研究会の開催、情報提供活動、普及・啓発活動、政策提言活動、その他「地球市民の実現」にかかわる活動を行ないます。

### SGRAの特徴



### ■ 会員

本会は、本会の目的に賛同し、共に行動あるいはこれを支援しようとする賛助会員（法人と個人）、および特別会員、メール会員をもって構成されています。

1. 賛助寄附者を賛助会員と呼称します。本会の年次報告、SGRA レポート、SGRA かわらばんの配送を受けることができます。
2. 特別会員は運営委員会により指名されます。本会の年次報告、SGRA レポート、SGRA かわらばんの配送を受けることができます。
3. メール会員は原則本人からの自動登録・退会となりますが、運営委員会の承認を必要とします。SGRA かわらばんの配信を受けることができます。

### ■ 運営体制

本会は、渥美財団の基本財産運用益と法人・個人からの寄附金、諸機関から各プロジェクトへの助成金、その他の収入を運営資金とし、運営委員会、研究チーム、プロジェクトチーム、編集チームによって活動を推進しています。

1. 運営委員会は、本会の運営に関する重要事項について決議します。
2. 研究チームは、研究員により構成し、必要に応じて他の参加を求め、メンバーの意見を反映させて事業を遂行し、広く情報提供を行ないます。<sup>※1</sup>
3. プロジェクトチームは、主に海外拠点プロジェクトにおいて個別案件の時限組織として編成されます。<sup>※2</sup>
4. 編集チームは、編集委員をもって構成し、レポートの編集、発行を行ないます。

※1 国内研究交流活動を支える7つの研究チーム

①グローバル化と地球市民 ②環境・エネルギー ③ITと教育 ④東アジアの人材育成 ⑤東アジアの安全保障と世界平和 ⑥宗教と現代社会 ⑦構想アジア

※2 海外研究交流活動を支える4つの海外プロジェクト

①日韓アジア未来フォーラム ②日比共有型成長セミナー ③SGRA チャイナ・フォーラム ④日台アジア未来フォーラム

## 第5回日台アジア未来フォーラム

## 日本研究から見た日台交流 120年

日時：2015年5月8日（金）  
 会場：国立台湾大学文學院演講庁会議室  
 主催：渥美国際交流財団 関ログローバル研究会（SGRA）、  
 国立台湾大学日本研究センター、国立台湾大学日本語文科学科  
 共催：国立台湾大学文學院、中央研究院近代史研究所  
 後援：公益財団法人交流協会台北事務所、台湾日本人会、  
 日台交流部会  
 協賛：独立行政法人国際交流基金、中鹿營造（股）有限公司、  
 日商良基注入營造股份有限公司、台灣分公司、  
 日商全日本空輸（股）公司、台灣分公司



フォーラム会場となった国立台湾大学。200名の参加者が集まり、大盛会であった。

本フォーラムは「国際関係」「語学と文学」「社会変容」という三つのセッションから構成。日台関係 120年という大きな節目にあたり、台湾、日本、中国、韓国などからの第一線で活躍されている学者の方々をお招きし、「日台関係 120年」の実像に迫るとともに、次の 120年の日台関係を展望するには如何なるキーワードを念頭にいれる必要があるのか、という問題意識に基づき 13 の講演・論文発表と活発な議論が展開された。



基調講演は、東京大学東洋文化研究所教授の松田康博氏が「日本と台湾の 120 年：『二重構造』の特徴と変遷」という演題で行った。



第 1 セッションのテーマは「政治環境・国際関係の変容から見た日台関係」、第 2 セッションは「日本研究の回顧と展望一言語と文学」。第 3 セッションの「日台社会の変容と交流の諸相」では、文字通り、日台交流史における「社会の変容」と「交流の諸相」に焦点をあてた。



最後の総合討論では、これまで 120年の日台関係および日本研究のあり方や特徴をそれぞれ語り、今後の方向性を提示した。



多くの参加者から「ハイレベルだった」と評していただいた今回の議論を通し、新たな「日台関係論」の構築に資したい。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
 林 泉忠「第 5 回日台アジア未来フォーラム報告：日本研究から見た日台交流 120年」報告 参照。

## 第9回 SGRA チャイナ・フォーラム

## 日中200年—文化史からの再検討—

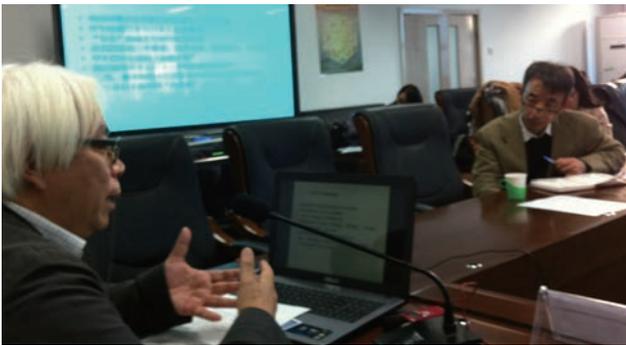
【フフホトフォーラム】 日時：2015年11月20日（金）  
会場：内蒙古大学蒙古学学院2楼大会議室

【北京フォーラム】 日時：2015年11月22日（日）  
会場：北京大学外国語学院新楼501会議室

主催：渥美国際交流財団 関ログローバル研究会（SGRA）  
共催：清華東亜文化講座  
助成：国際交流基金北京日本文化センター  
協力：北京大学日本語文化学部（北京）  
内蒙古大学蒙古学学院蒙古歴史学部（フフホト）

東アジアを語る時、共通する大事な歴史的体験を無視し、文化の差異ばかりを強調するのは生産的ではなく、結局は自らを袋小路に追い込むことにしかならない。本フォーラムでは、いわば在来の一国主義史観、文化相互不理解論などの弊害を修正し、過去の近代東アジア文化圏、文化共同体の存在を振り返りながら、その経験と教訓を未来にむけていかに生かすべきかについて検討し、その可能性を探った。

【フフホトフォーラム】 .....



フフホトでの SGRA チャイナフォーラムは、2010年、2011年に続く3回目。講演の後には、質疑応答と活発な討論が行われた。



参加者は内モンゴル大学歴史学部、モンゴル学研究センターの研究者の他、学部生、院生、日本からの留学生、他大学等、百余名を数えた。

【北京フォーラム】 .....



「日中韓三国はまぎれもなく古来の文化圏と違う形で西洋受容を中心とする一つの近代文化圏を形成していた」と熱く語る劉建輝先生。



講演後、短い休憩を挟んで先生方からコメントをいただく。鋭い洞察と該博な知識に満ちた見解に、会場全員の関心が一層高められた。



大雪警報の出された日曜日という悪条件にもかかわらず、50人以上の方々にお集まりいただき、熱のこもった議論が展開された。



参加者からは「もっと勉強・研究・探究したくなった」「歴史をより深く理解できた」など、暖かい反響をいただいた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
第9回 SGRA チャイナフォーラム「日中二百年—文化史からの再検討」報告 参照。

## 第 20 回日比共有型成長セミナー

### 環境生態学と持続可能共有型成長

日時：2016年2月10日（水）

会場：アテネオ・デ・マニラ大学 Escaler Hall

主催：渥美国際交流財団 関ログローバル研究会（SGRA）、  
SGRA フィリピン

2014年、フィリピンを訪問されたカトリックの教皇から、貧富の格差の拡大や環境破壊を厳しく批判し、社会的公正と倫理の回復を求める強いメッセージが出された。本セミナーでは、このメッセージに込められたヒューマン・エコロジーという概念の意味や意義など理解するとともに、フィリピンのSGRAプロジェクトで追究している持続可能な共有型成長との関連性を考えた。



100人を超える参加者が集まった。カトリック最大の大学とも言えるセント・トマス大学の学部生と先生たちも多数参加した。



午前中は、発表1から発表8まで、フィリピン各地から集まった講師による発表が行われた。



今回のセミナーは企画の段階から、実行委員たちの提案で、今まで以上に宗教色の濃いものとなった。



これまでも専門分野や国籍の壁を超えて実施してきたが、初めて世代の壁をも超え、実行委員推薦の学部生の発表も3本加わった。



軽いランチをはさんで、午後は発表者の円卓会議が行われ、発表とテーマとの関係の理解を深めていった。



日比共有型セミナーはこの12年間に20回開催してきた。国際性・学際性に加え、「世代間の壁」を突破する試みをしようと呼まされた。

詳細はSGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
マックス・マキト「第20回日比共有型成長セミナー『人間環境学と持続可能な共有型成長』報告」参照。

# 第 15 回日韓アジア未来フォーラム

## これからの日韓の国際開発協力 —共進化アーキテクチャの模索—

日時：2016年2月13日（土）  
会場：東京国際フォーラム ガラス棟 G 510 号室  
主催：渥美国際交流財団 関ログローバル研究会（SGRA）  
共催：（財）未来人力研究院（韓国）

本フォーラムでは、政府開発援助（ODA）分野におけるアジアのフロントランナーとしての日本の特色ある国際協力と韓国の開発経験が東アジアの持続可能な成長と域内協力のどのように貢献できるか、という問題意識に基づき、日韓の理念（idea）、制度（institution）、国益（interest）の収斂（convergence）と発散（divergence）が織りなす ODA の国際政治経済について考える場となった。



フォーラムでは、未来人力研究院理事長の李鎮奎教授による開会の挨拶に続き、日韓、それぞれの基調講演が行われた。



今回は日韓の研究者がクロスで報告を行う新しい試みを採用。まず孫赫相教授が、日本の ODA に対する韓国からの視点を紹介した。



深川由起子教授は、東アジア型産業発展の経験を最も濃密に共有する韓国との協調は、日本にとっても重要な鍵であると強調した。



円卓会議では、事例紹介やミニ報告がいくつか行われたあと、熱のこもったディスカッションが行われた。



「それぞれの立場や専門領域を踏まえた、そして自分の夢が込められた素晴らしい討論だった」とコメントする李鎮奎教授。



実りのある日韓アジア未来フォーラムを進めていくために、次回以降も具体的な課題において掘り下げた検討を重ねていきたい。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
金雄熙「第 15 回日韓アジア未来フォーラム報告」『これからの日韓の国際開発協力：共進化アーキテクチャの模索』参照。

## 第49回SGRA フォーラム

## 日本研究の新しいパラダイムを求めて

日時：2015年7月18日（土）

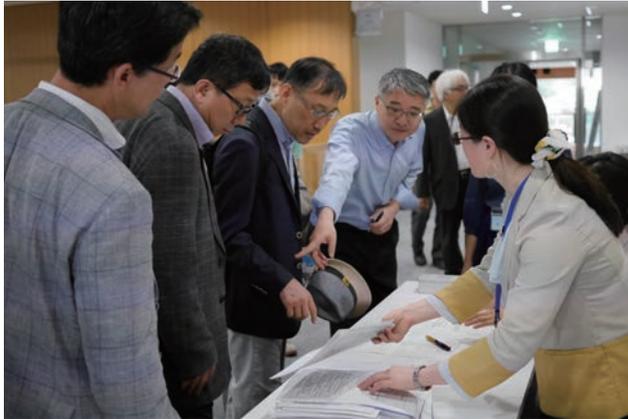
会場：早稲田大学大隈会館（N棟2階201、202号室）

主催：渥美国際交流財団 関口グローバル研究会（SGRA）

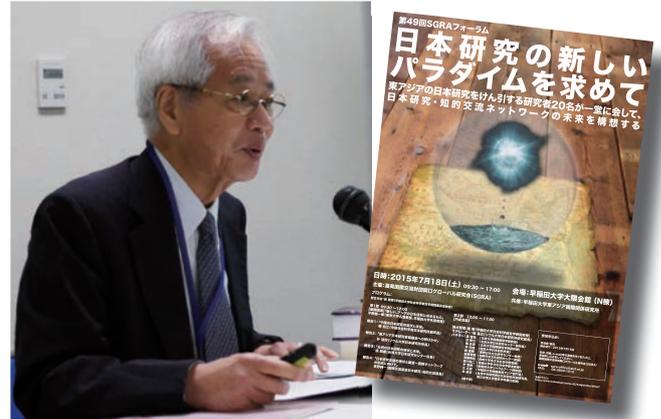
共催：早稲田大学東アジア国際関係研究所

助成：鹿島学術振興財団

SGRAでは、「日本研究」関連のフォーラムや円卓会議を継続的に開催してきた。本フォーラムでは、日・中・韓・台の研究者から従来型の日本研究の衰退と研究環境の悪化に関する危惧が表明され、「日本研究をアジアの公共知に」をキーワードとして、新しい日本研究の方向性をどこに求めるか、公共知とは何か、など「日本研究の新しいパラダイム」を開くための方法や各国の日本研究者が連携する必要性などに関する活発な議論が交わされた。



中国、韓国、台湾を代表する日本研究機関と日本研究の第一線で活躍する研究者20名が一堂に会し、活発な議論を交わす会となった。



平野健一郎先生による基調講演「新しい、アジアの日本研究に求めるもの」は、これからの日本研究の方向性を示唆するものだった。



中国、台湾、韓国から各国の日本研究の現状と将来に関する報告と、日本からは日本研究支援の現状と展望についての報告があった。



今回のフォーラムはセミ・オープン形式であったにもかかわらず、予想を上回る延べ100人の参加者があった。



円卓会議では、講演者とパネリスト計20名と会場の若手研究者を交えたオープンディスカッションが3時間にわたって行われた。



フォーラム終了後、渥美財団ホールで懇親会開催。渥美奨学生、元奨学生、若手研究者と講師らの交流と議論が夜遅くまで続いた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
第49回SGRA フォーラム「日本研究の新しいパラダイムを求めて」報告 参照。

## 第50回 SGRA フォーラム

青空、水、暮らし—環境と女性と未来に向けて—

日時：2015年11月14日（土）

会場：北九州市立大学 北方キャンパス 本館2階 C-202 教室

主催：渥美国際交流財団 関口グローバル研究会（SGRA）

共催：北九州市立大学



今回のフォーラムでは、深刻化する環境問題に直面する女性や母親の意識の変化や社会参加の試みについての問いかけが行われた。



最初の事例は北九州市。旧戸畑市の三六地区の煤煙による公害問題に対峙した婦人会の地道で活発な活動が紹介された。



続く中国の発表では、大気汚染問題を訴えるために中央テレビ局キャスターの柴静さんが自費制作した番組の内容について紹介された。



韓国からは、韓国 YWCA のこれまでの活動、特に女性の地位向上に関する活動や環境保護活動、脱原発運動についての紹介があった。



第2部のオープンフォーラムではまず、エネルギーの自給自足を実現するための八幡東区東田地区の取り組みが紹介された。



発表者を交えたフリーディスカッションでは、多くの質問が出され、聴講者とパネリストとの討論が交わされた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
第50回 SGRA フォーラム「青空、水、暮らし—環境と女性と未来に向けて」報告 参照。

## 第4回 SGRA ワークショップ in 蓼科

## 知の空間を創ろう

日時：2015年7月3日(金)～5日(日)

会場：蓼科高原チェルトの森 東京商工会議所蓼科フォーラム

主催：渥美国際交流財団 関口グローバル研究会 (SGRA)

新しい日本研究ネットワーク（「知の空間」）の創造に向けて開催する第49回 SGRA フォーラム「日本研究の新しいパラダイムを求めて」に先立ち、「知の空間」について考察するワークショップを行った。講師のレクチャー、様々なキーワード、研究経験などを踏まえて、「あなたにとっての『知の空間』」のイメージを語り共に考えた。

## [1日目]



諏訪につく頃には雨もほほ止み、雨霧に囲まれた諏訪大社は神秘感を増していた。夏越しの大祓、茅の輪くぐりも体験。



チェルトの森へ到着。夕食後のアイスブレイキングタイムで個々の個性が浮かび上がり、続く懇親会でも楽しい話が長く続いた。

## [2日目]



ワークショップの前に「知の空間」とは何か、茶野純一さんと劉傑さんそれぞれの講演と、お二人の対談を通して考えた。



午後は5つのチームに分れ、自然を満喫しながら、知の空間をイメージする色・形や課題を見つけ、自由に話し合う時間を持った。

## [3日目]



ワークショップの結果をチーム毎に発表した。いずれも発表内容や形式において、個性溢れる、面白い発表になった。



議論、まとめ、発表全体を通して、元奨学生や財団メンバー、そして講師の先生方までも皆が積極的に参加し、奨学生をサポートした。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
趙国「第4回 SGRA ワークショップ『知の空間を創ろう』報告」参照。

## 第4回 SGRA ふくしまスタディツアー

### 飯舘村、帰還に向けて

日程：2015年10月2日（金）～4日（日）

主催：渥美国際交流財団 関口グローバル研究会（SGRA）

協力：ふくしま再生の会

2012年から毎年、福島第一原発事故の被災地である福島県飯舘（いいたて）村でのスタディツアーを開催。4回目の2015年は、飯舘村の視察、見学と協働作業体験としての「稲刈り」を中心としたスタディツアーを行った。これらの体験や考察は、SGRA ワークショップ、SGRA フォーラム、SGRA カフェなどさまざまな形で展開し、発信を続けている。



今回のスタディツアーには、渥美財団の仲間や関係者など国籍や分野、性別も世代も多様なメンバー総勢9名が参加。



飯舘村のアチコチが除染土のピラミッドで覆われている光景に胸が痛む。出会った除染作業員はみな若者だった。



直接に測ってみると「放射線量」は低下したものの、まだまだ場所や条件により、相当の差がある。



「イネ（畑作）試験栽培」の田んぼの稲刈り作業の中で、田畑は「多様な生き物の居場所でもあった」ことなどが話し合われた。



「生命の居場所としての土地」を再生することが、本当の再生の第一歩だと再確認した瞬間だった。



帰還に向け、「次世代、次々世代のために」村の農業や酪農の再生に力を注ごうとする方々の意欲と切実な思いが感じられるツアーだった。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
 第4回 SGRA ふくしまスタディツアー「飯舘村、再生のジレンマを乗り越えて」報告  
 SGRA かわらばん <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/SGRA/>  
 エッセイ472：金 銀恵「飯舘村、再生のジレンマを乗り越えて」参照。

## 第7回 SGRA カフェ

中国台頭時代の台湾・香港の若者のアイデンティティ  
—「ひまわり」と「あまがさ」の現場から—

日時：2015年7月11日（土）

会場：寺島文庫みねるばの森

主催：渥美国際交流財団 関口グローバル研究会（SGRA）



「二つの運動は中心となった若者たちが、深い関心をもって互いの活動を積極的に支援したという点も特徴的である」と林先生。

SGRA では、良き地球市民の実現をめざす（首都圏在住の）みなさんに気軽にお集まりいただき、講師のお話を伺う＜場＞として、SGRA カフェを開催している。今回の講演は、演者に SGRA 会員の林泉忠さんをお迎えし、2014 年に中国語圏で起こった政治的な出来事の中なかでも特に印象的であった、台湾のひまわり学生運動と香港の雨傘運動の意義を語っていただいた。



今回の講演は、アクチュアルな現象に着目することで今後の中国語圏全体のあり方を考えるという、非常に刺激的な内容となった。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
文景楠「第7回 SGRA カフェ『中国台頭時代の台湾・香港の若者のアイデンティティ』報告」参照。

## 第8回 SGRA カフェ

## 女子大は要る？

## —「女」、「男」と大学について考えよう—

日時：2015年10月24日（土）

会場：渥美財団ホール

主催：渥美国際交流財団 関口グローバル研究会（SGRA）



第1部はシムさんの発表、第2部はソイヤさんの発表と参加者全員による小グループ・ディスカッションが開かれた。

今回のカフェは SGRA 会員のシム・チュンキャットさん（昭和女子大学准教授）とデール・ソイヤさん（一橋大学特任講師）が担当。そもそも、女子大は要るのだろうか？ この問題意識をきっかけとして、今回のカフェでは、「大学」を通して「女」である、「男」であるとはどういうことか、その社会における妥当性とはいかなるものかについて考えた。



今回のカフェを通して、今まで疑問視されてこなかった性別にかかわる社会常識などについて深く考えさせられた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
胡艶紅「第8回 SGRA カフェ『女子大は要る？～「女」、「男」と大学について考えよう～』報告」参照。

# 財団運営

## 2015年度 業務日誌

- |          |  |
|----------|--|
| 4月3日     | 4月例会（於：学習院・目白倶楽部）  |
| 18日      | ラクーン主催 嶋津さんありがとうの会   |
| 5月8日     | 第5回日台アジア未来フォーラム<br>「日本研究から見た日台交流120年」（於：台湾大学）                                      |
| 11日      | 例会：個人面談（15日まで）   |
| 17日      | 第15回理事会・食事会（於：東京ステーションホテル）   |
| 6月1日     | 2014年度年報発行   |
| 4日       | 第6回評議員会（2014年度事業報告と決算報告）・親睦会（6月例会）<br>（於：鹿島KIビル）                                   |
| 7月1日     | 奨学生募集要項配布（関東地方の大学に通知、ホームページに掲載）  |
| 3日～5日    | 第4回SGRA ワークショップ in 蓼科「<知の空間>を創る」<br>（於：東京商工会議所蓼科フォーラム）                             |
| 11日      | 第7回SGRA カフェ<br>「中国台頭時代の台湾・香港の若者のアイデンティティー『ひまわり』と『あまがさ』<br>の現場からー」（於：寺島文庫カフェみねるばの森） |
| 18日      | 第49回SGRA フォーラム<br>「日本研究のバラダイムを求めて」（於：早稲田大学）<br>8月例会：真夏のバーベキュー（於：鹿島新館）              |
| 9月1日     | 2016年度奨学生応募受付開始  |
| 3日       | 9月例会：個人面談（9日まで）  |
| 30日      | 2016年度奨学生応募締め切り（応募者総数113名）   |
| 10月2日～4日 | 第4回SGRA ふくしまスタディツアー「飯館村、帰還に向けて」  |
| 5日       | 10月例会：食事会（於：「ろしあ亭」）  |
| 9日～13日   | 2016年度奨学生書類審査  |
| 24日      | 第8回SGRA カフェ<br>「女子大は、要る？ー『女』、『男』と大学について考えようー」<br>（於：鹿島新館）                          |
| 26日      | 2016年度奨学生候補者予備面接（11月5日まで）  |
| 11月4日    | 11月例会：勝どき5丁目再開発事業工事現場見学会   |
| 14日      | 第50回SGRA フォーラム in 北九州<br>「青空、水、くらしー環境と女性と未来に向けてー」<br>（於：北九州市立大学北方キャンパス）            |
| 20日      | 第9回チャイナフォーラム（フフホト）（於：内蒙古大学）<br>「日中200年ー文化史からの再検討ー」                                 |
| 22日      | 第9回チャイナフォーラム（北京）（於：北京大学）<br>「日中200年ー文化史からの再検討ー」                                    |
| 28日      | 2016年度奨学生最終選考・面接   |
| 12月1日    | 12月例会：個人面談（4日まで）   |
| 12日      | 第16回理事会・懇親会（於：アルカディア市ヶ谷・中国飯店市ヶ谷店）  |
| 1月16日    | 1月例会：新年会（於：渥美財団ホール）  |
| 2月1日     | 2月例会：個人面談（5日まで）  |
| 10日      | 第20回日比共有型成長セミナー「環境生態学と持続可能共有型成長」<br>（於：アテネオ・デ・マニラ大学 Escaler Hall）                  |
| 13日      | 第15回日韓アジア未来フォーラム<br>「これからの日韓の国際開発協力ー共進化アーキテクチャの模索ー」<br>（於：東京国際フォーラムガラス棟）           |
| 26日      | 第17回理事会（於：霞山会館）  |
| 3月5日     | 3月例会：2015年度奨学生研究報告会（於：渥美財団ホール）   |
| 11日      | 2015年度奨学生最後の食事会<br>（於：ホテルイースト21 東京 中華料理「桃園」）                                       |

# 財務諸表

## 貸借対照表

2016年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	6,347,465
2 固定資産	
(1) 基本財産	3,396,187,027
(2) 特定資産	109,447,329
固定合計	3,505,634,356
資産合計	3,511,981,821
II 負債の部	
1 流動負債	1,212,235
2 固定負債	4,680,000
負債合計	5,892,235
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	3,505,634,356
(うち基本財産への充当額)	3,396,187,027
(うち特定資産への充当額)	109,447,329
2 一般正味財産	455,230
正味財産合計	3,506,089,586
負債及び正味財産合計	3,511,981,821

## 正味財産増減計算書

2015年4月1日から2016年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常損益の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	26,186,236
特定資産運用益	1,336,256
受取補助金等	891,415
受取寄附金	31,285,013
雑収益	189,420
経常収益計	59,888,340
(2) 経常費用	
事業費	58,005,430
管理費	5,871,484
経常費用計	63,876,914
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 3,988,574
当期経常増減額	▲ 3,988,574
2. 経常外損益の部	
(1) 経常外収益	
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	▲ 3,988,574
一般正味財産期首残高	4,443,804
一般正味財産期末残高	455,230
II 指定正味財産増減の部	
受取寄附金	8,628,080
基本財産運用益	26,748,263
特定資産運用益	1,336,256
基本財産評価益	592,000,000
特定資産評価損	▲ 2,662,200
一般正味財産への振替額	▲ 39,070,807
当期指定正味財産増減額	586,979,592
指定正味財産期首残高	2,918,654,764
指定正味財産期末残高	3,505,634,356
III 正味財産期末残高	3,506,089,586

## 評議員

渥美直紀	評議員会長、鹿島建設株式会社代表取締役副社長
明石 康	公益財団法人国際文化会館理事長
秋山 豪	鹿島建設株式会社顧問
渥美雅也	一般財団法人東京水産振興会専務理事
蟻川芳子	日本女子大学名誉教授
岩崎統子	公益社団法人 CISV 日本協会副会長
加藤秀樹	一般社団法人構想日本代表
鹿取克章	元駐インドネシア日本大使
佐藤直子	前公益社団法人プロテニス協会理事長
田村次朗	慶應義塾大学法学部教授
遠山友寛	弁護士 TMI 総合法律事務所パートナー
永山 治	中外製薬株式会社代表取締役会長
堀田健介	グリーンヒル・ジャパン株式会社代表取締役会長
宮崎裕子	弁護士 長島・大野・常松法律事務所パートナー
八城政基	元株式会社新生銀行取締役会長
山本尚子	公益財団法人伊藤謝恩育英財団常務理事

## 監事

上野 宏	三井住友海上火災保険株式会社顧問
長岡美奈	公認会計士 公益財団法人助成財団センター監事

## 理事

渥美伊都子	理事長
今西淳子	常務理事
片岡達治	元癌研究会研究員
金 外淑	兵庫県立大学看護学部心理学系教授
高 偉俊	北九州市立大学国際環境工学部教授
嶋津忠廣	前渥美国際交流財団事務局長
高橋 甫	公益財団法人 日本テニス協会常務理事
平川 均	名古屋大学名誉教授、国士舘大学教授
藤井純一	公益財団法人かめのり財団理事
李 恩民	桜美林大学グローバルコミュニケーション学群教授
角田英一	事務局長兼任

## 選考委員

畑村洋太郎	委員長、東京大学名誉教授、工学院大学教授、畑村創造工学研究所所長 (産業機械工学)
井上博允	東京大学名誉教授、元日本学術振興会監事 (情報工学)
片岡達治	(理事) (薬学)
佐野みどり	学習院大学教授 (美術史)
田村次朗	(評議員) (法学)
平川 均	(理事) (経済学)

# 奨学生名簿

## 【1995年度奨学生】

**Bambling, Michele** バンプリング、ミッシェル [アメリカ] 女：コロンビア大学／慶應義塾大学 [博士] (美術史)：Zayed 大学教授 (在アラバマ)

**Gao Lingna** 高玲娜 [中国] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：(在横須賀)

**Gao Weijun** 高偉俊 [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：北九州市立大学国際環境工学部教授、西安交通大学兼職教授 (在北九州)

**Jin Xi** 金熙 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物理情報学)：Sheerwood 科技発展有限公司社長 (在北京)

**Kwack Jae-Woo** 郭在祐 [韓国] 男：学習院大学 [博士] (美術史)：日本大学文理学部、学習院大学文学部非常勤講師

**Maquito, Ferdinand** マキト、フェルディナンド [フィリピン] 男：東京大学 [博士] (経済学)：テンブル大学講師

**Park Chul-Ju** 朴哲主 [韓国] 男：慶應大学 [博士] (商学)：三育大学経営学部副教授 (在ソウル)

**Park Jung-Ran** 朴貞蘭 [韓国] 女：日本女子大学 [博士] (社会福祉学)：仁済大学社会福祉科副教授 (在釜山)

**Shi Jianming** 施建明 [中国] 男：筑波大学 [博士] (数理工学／社会工学)：東京理科大学経営学部教授

**Yao Hui** 葉会 [中国] 男：早稲田大学 (日本文学)：法政大学国際文化情報学部非常勤講師

**Youn Seok-Hee** 尹錫姫 [韓国] 女：専修大学 [博士] (商学)：仁徳大学観光学部非常勤講師 (在ソウル)

○阪神大震災被災特別奨学生

**Chen Xiao** 陳曉 [中国] 男：神戸大学 (医学)

**Hong Der-Juinn** 洪徳俊 [台湾] 男：神戸大学 [博士] (経営学)：国立中央大学企業管理系副教授 (在台湾桃園)

**Wang Libin** 王立彬 [中国] 男：神戸大学 (自然科学)：(株)東洋インキ製造 (在上海)

## 【1996年度奨学生】

**Chantachote, Viravat** チャンタチョテ ビラバット [タイ] 男：慶應義塾大学 [博士] (法学)：タマサート大学法学部准教授 (在バンコク)

**Gulench, Selim Yucel** グランチ、セリム [トルコ] 男：東京大学 (政治学)：コンヤ市庁国際関係・観光部 (在トルコ コンヤ市)

**Khin Maung Htwe** キン マウン トウエ [ミャンマー] 男：早稲田大学 [博士] (応用物理)：Hotel AKIMOMI 社長 (在マンダレー)

**Kim Woong-Hee** 金雄熙 [韓国] 男：筑波大学 [博士] (国際政治経済学)：仁荷大学校国際通商学部教授 / 獨協大学外国学部交流文化学教科交換客員教授 (在埼玉)

**Lee Nae-Chan Huey** 李來贊 [韓国] 男：慶應義塾大学 [博士] (管理工学)：漢城大学経済学部教授 (在ソウル)

**Nam Ki-Jeong** 南基正 [韓国] 男：東京大学 [博士] (国際関係論)：ソウル大学日本研究所 HK 教授 (在ソウル)

**Park Keun-Hong** 朴根弘 [韓国] 男：東京工業大学 [博士] (生命理工学)

**Qiao Xin** 喬辛 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (無機材料工学)

**Trede, Melanie Maria** トレーデ、メラニー [ドイツ] 女：ハイデルベルグ大学／学習院大学 [博士] (日本美術史)：ハイデルベルグ大学東洋美術史研究所教授 (在ハイデルベルグ)

**Zhao Qing** 趙青 [中国] 女：お茶の水女子大学 (比較文化)

**Zhu Tingyao** 朱庭耀 [中国] 男：東京大学 [博士] (船舶海洋工学)：日本海事協会技術研究所首席研究員／ハルビン工科大学客員教授

## 【1997年度奨学生】

**De Maio, Silvana** デマイオ、シルバーナ [イタリア] 女：東京工業大学 [博士] (日本語学)：ナポリ東洋大学准教授 (在ナポリ)

**Fang Meili** 方美麗 [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士] (言語学)：(在ロンドン)

**Isananto, Winurshito** イサナント、ウィンルシト [インドネシア] 男：慶應義塾大学 [博士] (応用化学)：インドネシア工業省マナド工業規格と研究研究所：(在インドネシア)

**Kim Woe-Sook** 金外淑 [韓国] 女：早稲田大学 [博士] (健康科学)：兵庫県立大学看護学部心理学系教授 (在神戸)

**Katagiri, Laohaburanakit Kanokwan (Noi)** 片桐カノックワン、ラオハブナキット (ノイ) [タイ] 女：筑波大学 [博士] (言語学、日本語教育)：チュラロンコン大学文学部日本語講座准教授 (在バンコク)

**Lee Hyang-Chul** 李香哲 [韓国] 男：一橋大学 [博士] (経済学)：光云大学日本学教授 (在ソウル)

**Li Enmin** 李恩民 [中国] 男：一橋大学 [博士] (社会学)：桜美林大学リベラルアーツ学群教授

**Nizamidin Jappar** ニザミディン ジャッパル [アメリカ] 男：東京大学 [博士] (応用化学)：キモト・テック取締役 (在米ジョージア)

**Wang Yuepeng** 王岳鵬 [中国] 男：東京大学 [博士] (医学)：上海交通大学医学院附属華南医院科研中心 (在上海)

**Williams, Duncan** ウィリアムズ、ダンカン [イギリス] 男：ハーバード大学／上智大学 [博士] (宗教学)：南カルフォルニア大学宗教学部長 (在ロサンゼルス)

**Zhang Shao-min** 張紹敏 [中国] 男：東京大学 [博士] (医学)：ペンシルベニア州立大学医学部神経と行動学助教授 (在米ハーシー)

## 【1998年度奨学生】

**Adiole, Emmanuel** アディオレ、エマニュエル [ナイジェリア] 男：東京大学 [博士] (政治学)：ナイジェリア・エネルギー環境研究所主任研究員 (在ナイジェリア)

**Cao Bo** 曹波 [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：株式会社北京 NTT データジャパン

**He Zuyuan** 何祖源 [中国] 男：東京大学 [博士] (先端学際工学／光電子工学)：上海交通大学光ファイバ技術国家重点実験室教授 (在上海)

**Hu Jie** 胡潔 [中国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (文学)：名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授 (在名古屋)

**Kim Jaesung** 金宰晟 [韓国] 男：東京大学 (仏教学)：仏教大学院大学 (在ソウル)

**La Insook** 羅仁淑 [韓国] 女：早稲田大学修了、流通経済大学 [博士] (経済学)：国士館大学政経学部非常勤講師、NPO 暖流代表

**Lee Joo-Ho** 李周浩 [韓国] 男：東京大学 [博士] (電子工学)：立命館大学情報理工学部情報コミュニケーション学教授 (在滋賀)

**Mailisha** マイリーサ [中国 (内モンゴル)] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：昭和女子大学人間文化学部特命教授

**Sun Yanping** 孫艶萍 [中国] 女：東京大学 [博士] (医学)：コロンビア大学医学部准教授 (在ニューヨーク)

**Wu Hongmin** 呉弘敏 [中国] 女：東京工業大学 [博士] (精密工学)：フクダ電子 (株)

**Xu Xiaoyuan** 許曉原 [中国] 女：東京大学 [博士] (農業生命科学)：コロンビア大学ナオミベリーセンター研究員 (在ニューヨーク)

## 【1999年度奨学生】

**Coimbra, Maria Raquel Moura** コインブラ、マリア・ハケウ・モウラ [ブラジル] 女：東京水産大学 [博士] (資源育成学)：ペルナンブコ州立大学農水学部応用遺伝子研究室助教授 (在ブラジル)

**Hong Kyung-Jin** 洪京珍 [韓国] 女：東京工業大学 [博士] (化学環境工学)：韓国環境省 (在ソウル)

**Hou Yankun** 侯延昆 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物理電子化学／薬学)：UBS Investment Research (在香港)

**Ju Yan** 具延 [中国] 男：筑波大学 [博士] (農学)：メッツォペーパージャパン (株)

Li Gangzhe 李綱哲 [中国] 男:立教大学(経営学/経済学):北陸大学未来創造学部教授(在金沢)

Musikasinthorn Prachya ムシカシントーン、プラチャー [タイ] 男:東京水産大学[博士](資源育成学):カセサート大学水産学部助教授(在バンコク)

Vu Thi Minh Chi ブティミンチー [ベトナム] 女:一橋大学[博士](地域研究):ベトナム社会科学院人間科学研究所研究員(在ハノイ)

Wang Dan 王旦 [中国] 男:東京藝術大学[博士](音楽):パイオリニスト/昭光物産(株)

Yang Jie Chi 楊接期 [台湾] 男:東京工業大学[博士](教育工学):国立中央大学網路学習科技研究所教授(在台湾桃園)

Yeh Wen-chang 葉文昌 [台湾] 男:東京工業大学[博士](電子物理工学):島根大学総合理工学研究科准教授(在松江)

Zhou Haiyan 周海燕 [中国] 女:東京医科歯科大学[博士](医学):たてやまクリニック院長(在富山県)

### [2000年度奨学生]

Jin Zhengwu 金政武 [中国] 男:東京工業大学[博士](物質科学):東芝(株)

Jung Jae Ho 鄭在皓 [韓国] 男:慶應義塾大学[博士](物質科学):三星電子LCD総括LCD開発室(在天安)

Jung Sung Chun 鄭成春 [韓国] 男:一橋大学[博士](経済学):対外経済政策研究院(KIEP)(在ソウル)

Ko Hee Tak 高熙卓 [韓国] 男:東京大学[博士](総合文化):延世大学政治外交学学科研究教授(在ソウル)

Lim Chuan-Tiong 林泉忠 [香港] 男:東京大学[博士](国際政治学):中央研究院近代史研究所副研究員(在台北)

Molnar Margit モルナル、マルギット [ハンガリー] 女:慶應義塾大学[博士](経済学):OECD研究員(在パリ)

Naiwala Pathirannehelage Chandrasiri ナイワラパティランネヘラゲチャンドラシリ [スリランカ] 男:東京大学[博士](電子情報):工学院大学情報学部准教授

Ren Yong 任永 [中国(内モンゴル)] 男:群馬大学[博士](医学):ニューヨーク州立大学医学部研究員(在米バッファロー)

Suzuki Sato Hiromi スズキサトウ、ヒロミ [メキシコ] 女:慶應義塾大学(経済学):(在東京)

Wu Yuping 武玉萍 [中国] 女:千葉大学[博士](医学):理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター(CDB)(在神戸)

Xu Xiangdong 徐向東 [中国] 男:立教大学[博士](社会学):(株)中国市場戦略研究所代表取締役

Zeng Zhinong 曾支農 [中国] 男:東京大学[博士](アジア文化):(在武漢)

### [2001年度奨学生]

Borjigin, Burensain ボルジギン、ブレンサイン [中国(内モンゴル)] 男:早稲田大学[博士](東洋史):滋賀県立大学人間文化学部准教授(在彦根市)

Fan Jianting 範建亭 [中国] 男:一橋大学[博士](経済学):上海財経大学国際工商管理学院助教授(在上海)

Jeon Jin Hwan 全振煥 [韓国] 男:東京工業大学[博士](建築材料):鹿島建設(株)技術研究所主任研究員

Jiang Huiling 蔣惠玲 [中国] 女:横浜国立大学[博士](電子情報工学):(株)NTTドコモ北京研究所首席研究員(在北京)

Jin Xianghai 金香海 [中国] 男:中央大学[博士](政治学):逝去

Kostov, Vlaho コストブ、ブラホ [マケドニア/イタリア] 男:東京都立科学技術大学[博士](システム工学):パナソニック・ヨーロッパ社(在フランクフルト)

Lee Hyun-Young 李炫瑛 [韓国] 女:お茶の水女子大学[博士](比較文化):建国大学校師範大学日本語教育科助教授(在ソウル)

Lee Young-Suk 李英淑 [韓国] 女:筑波大学[博士](教育学):釜山大学校師範大学数学教育科非常勤講師(在釜山)

Liang Xingguo 梁興国 [中国] 男:東京大学[博士](化学生命工学):中国海洋大学食品科学と工程学院教授(在青島)

Lwin U Htay ユティルイン [ミャンマー] 男:東京医科歯科大学[博士](社会医学及び公衆衛生学):ロイヤル・ルイン・メディカルセンター所長(在ヤンゴン)

Qi Jin Feng 奇錦峰 [中国(内モンゴル)] 男:東京医科歯科大学[博士](薬理学):広州中医薬大学中薬学院教授(在広州)

Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko スリスマンティヨ、ヨサファットテトコ [インドネシア] 男:千葉大学[博士](人工システム科学):千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授

### [2002年度奨学生]

Baek Insoo 白寅秀 [韓国] 男:早稲田大学[博士](商学):(在ソウル)

Chen Tzu-Ching 陳姿菁 [台湾] 女:お茶の水女子大学[博士](国際日本学):開南大学応用中国語学科/応用日本語学科副教授、台湾大学兼任助理教授(在台北)

Jo Gyuhan 曹奎煥 [韓国] 男:早稲田大学[博士](地質学):JX新日鉱日石開発(株)(在マレーシア)

Hu Biangqun 胡炳群 [中国] 男:日本工業大学[博士](システム工学):日豊興業株式会社(在名古屋/広州)

Iko Pramudiono イコプラムディオノ [インドネシア] 男:東京大学[博士](電子情報工学):インドネシア三井物産(在ジャカルタ)

Mandah, Ariunsaihan マンダフ、アリウンサイハン [モンゴル] 男:一橋大学[博士](地域社会学):(在米カンザス)

Mukhopadhyaya Ranjana ムコパディヤヤ、ランジャナ [インド] 女:東京大学[博士](宗教学宗教学):デリー大学・東アジア研究科准教授(在デリー)

Park Young-June 朴榮濬 [韓国] 男:東京大学[博士](国際社会科学):国防大学校安全保障大学院教授(在ソウル)

Sun Jianjun 孫建軍 [中国] 男:国際基督教大学[博士](日本語学):北京大学外国語学院准教授

Wang Xi 王溪 [中国] 男:東京大学[博士](電子情報工学)

Yimit, Abliz イミテ、アブリズ [中国(ウイグル)] 男:横浜国立大学[博士](人工環境システム):新疆大学化学化工学院教授(在ウルムチ)

Yu Xiaofei 于曉飛 [中国] 女:千葉大学[博士](社会文化科学):日本大学法学部准教授

### [2003年度奨学生]

Chae Sang Heon 蔡相憲 [韓国] 男:東京農工大学[博士](生物生産学):天安蓮庵大学新環境園芸科教授(在韓国天安)

Chang Kuei-e 張桂娥 [台湾] 女:東京学芸大学[博士](学校教育学(言語文化)):東吳大学日本語文学系副教授(在台北)

Husel フスレ [中国(内モンゴル)] 男:東京外国語大学[博士](地域文化):昭和女子大学人間文化学部国際学教授

Kim Hyeon Wook 金賢旭 [韓国] 女:東京大学[博士](総合文化(表象文化)):国民大学国際学部助教授(在ソウル)

Kwak Jiwoong 郭智雄 [韓国] 男:立教大学[博士](経営学):九州産業大学商学部商学科准教授(在福岡)

Lin Shaoyang 林少陽 [中国] 男:東京大学[博士](総合文化(超域文化)):東京大学総合文化研究科准教授

Lu Yuefeng 陸躍鋒 [中国] 男:東京海洋大学(海洋情報システム):Merit Intelligence Development Centre, Director(在トロント)

Piao Zhenji 朴貞姬 [中国] 女:明海大学[博士](応用言語学):北京語言大学外国語学院日本語学部教授(在北京)

Tisi, Maria Elena ティシ、マリアエレナ [イタリア] 女:百合女子大学[博士](児童文学):ポローニャ大学、ペルージャ外国人大学非常勤講師(在ポローニャ)

Yamaguchi, Ana Elisa ヤマグチ、アナエリザ [ブラジル] 女:一橋大学[博士](社会学):(在ロンドン)

Yun Hui-suk ユンヒスク [韓国] 女:東京大学[博士](材料学):韓国機械研究院付属材料研究所(KIMS)(在韓慶南道昌原)

Zang LI 臧俐 [中国] 女: 東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (教育方法論)): 東海大学短期大学部准教授

#### [2004 年度奨学生]

Ampong, Beryl Nyamekye アンボン、ベリル・ニヤメケ [ガーナ] 女: 東京医科大学 [博士] (薬理学): (在ワシントン D.C.)

Chin, Angelina Yan Yan チン、アンジェリーナ [アメリカ] 女: カリフォルニア大学サンタクルーズ校/お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー研究): Pomona College 准教授 (在カリフォルニア)

Khomenko, Olga ホメンコ、オリガ [ウクライナ] 女: 東京大学 [博士] (地域文化研究): キエフ モヒラ アカデミー国立大学文学部歴史学科学准教授、ジャーナリスト (在キエフ)

Lee Jea Woo 李 済宇 [韓国] 男: 早稲田大学 [博士] (地盤地震工学): Worley Parsons (在メルボルン)

Lee Sung Young 李 承英 [韓国] 女: 筑波大学 [博士] (言語学): 光云大学日本学科 (在ソウル)

Meng Zimin 孟 子敏 [中国] 男: 筑波大学 [博士] (言語学): 松山大学人文学部教授 (在松山)

Mullagildin, Rishat ムラギルディン、リシャット [ロシア] 男: 慶応大学 (環境デザイン): RAUM Architects 社長 (在ロシア、ウファ)

Napoleon ナポレオン [インドネシア] 男: 東京工業大学 [博士] (機械制御システム): SMBC 日興証券

Sonntag, Mira ゾンターク、ミラ [ドイツ] 女: 東京大学 [博士] (宗教学史学): 立教大学文学部キリスト教科学准教授

Tsai Ying-hsin 蔡 英欣 [台湾] 女: 東京大学 [博士] (法学): 国立台湾大学法学部副教授 (在台北)

Yang Myung Ok 梁 明玉 [韓国] 女: お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): お茶の水女子大学アカデミック・プロダクション特任リサーチフェロー

Ye Sheng 叶 盛 [中国] 男: 東京大学 [博士] (先端学際工学): 東莞九域星医薬科技有限公司 (在香港)

#### [2005 年度奨学生]

Bao Lian Qun 包 聯群 [中国 (内モンゴル)] 女: 東京大学 [博士] (言語情報科学): 大分大学経済学部准教授 (在大分)

Han Junqiao 韓 琺巧 [中国] 女: 早稲田大学 [博士] (建築学): 国立ローレンス・パークレー研究所研究員 (在カリフォルニア)

Han Kyoung Ja 韓 京子 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (日本文化研究): 慶熙大学校日本語学科助教授 (在ソウル)

Jiang Susu 江 蘇蘇 [中国] 女: 横浜国立大学 [博士] (物理情報工学): 東芝セミコンダクター社

Kim Bumsu 金 範洙 [韓国] 男: 東京学芸大学 [博士] (社会系教育 (歴史)): (社) 国際交流振興協会理事長、東京学芸大学特命教授 (国際担当)、(韓国) 国立公州大学客員教授、(中国) 湖南師範大学客員教授

Kim Yeonkyeong 金 娟鏡 [韓国] 女: 東京学芸大学 [博士] (心理学): 鹿児島大学教育学部家政専修准教授 (保育・児童学担当)

Lan Hong Yueh 藍 弘岳 [台湾] 男: 東京大学 [博士] (地域文化研究): 国立交通大学社会と文化研究所副教授 (在台北)

Tenegro, Brenda Resurecion Tiu テネグラ、ブレンダ レスレシオン ティウ [フィリピン] 女: お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): (在フィリピンセブ島)

Vo Chi Cong ヴォー チー コン [ベトナム] 男: 東京工業大学 (数理・計算科学): (株) トリニティセキュリティシステムズ

Wang Xueping 王 雪萍 [中国] 女: 慶応義塾大学 [博士] (政策メディア): 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科学准教授

Wong Kin Foon Kevin 王 健歡 [香港] 男: 総合研究大学院 [博士] (統計科学): Citizens Bank, Quantitative Analyst (在ボストン)

Zhao Changxiang 趙 長祥 [中国] 男: 一橋大学 [博士] (商学): (在上海)

#### [2006 年度奨学生]

Chu Xuan Giao チュ・スワン・ザオ [ベトナム] 男: 総合研究大学院大学 (文化人類学): ベトナム社会科学院文化研究所上席研究員 (在ハノイ)

Hu Xiuying 胡 秀英 [中国] 女: 千葉大学 [博士] (看護教育学): 四川大学華西看護学部華西病院准教授 (在成都)

Hyun Seungsoo 玄 承洙 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (地域文化): 統一研究院研究員 (在ソウル)

Li Chengri 李 成日 [中国] 男: 慶応義塾大学 [博士] (政治学): 中国社会科学院アジア太平洋・グローバル (全球) 研究院 (在北京)

Liang Yun-hsien 梁 蘊嫻 [台湾] 女: 東京大学 [博士] (比較文化): 元智大学応用外語学科学助教授 (在台北)

Mohottala, Shirmila モホッタラ、シャミラ [スリランカ] 女: 東京大学 [博士] (情報理工学): (在スリランカ)

Pantcheva, Elena Latchezarova パンチュワ、エレナ [ブルガリア] 女: 千葉大学 [博士] (日本研究): (在ブルガリア)

Seo Kyoung Sook 徐 景淑 [韓国] 女: 慶応義塾大学 (美学美術史): (在ソウル)

Sim Choon Kiat シム チュンキヤット [シンガポール] 男: 東京大学 [博士] (教育学): 昭和女子大学人間社会学部准教授

Sun Junyue 孫 軍悦 [中国] 女: 東京大学 [博士] (言語情報科学): 東京大学教養学部専任講師

Weerasinghe, Nalin ウィーラシンハ、ナリン [スリランカ] 男: 電気通信大学 [博士] (電子工学): シュルンベルジェ (株) 電子エンジニア (在ヒューストン)

Woo Seonghoon 禹 成勲 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (建築学): (在仁川)

#### [2007 年度奨学生]

Chan Chai-fong 詹 彩鳳 [台湾] 女: 東京大学 (地域文化研究): (在台北)

Deng Fei 鄧 飛 [中国] 男: 東京大学 [博士] (先端エネルギー学)

Gangbagana ガンバガナ [中国 (内モンゴル)] 男: 東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 国際教養大学基盤教育助教 (在秋田)

Kim Minsuk 金 政淑 [韓国] 女: 早稲田大学 [博士] (建築学): 日本ミクニヤ株式会社 (在京都)

Lee Eungyong 李 垠庚 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (地域文化研究): ソウル大学日本研究所 HK 研究教授 (在ソウル)

Mijiti, Abuduxukuer メジテ、アブドシュクル [中国 (ウイグル)] 男: 東京医科大学 [博士] (外科学): 新疆ウイグル自治区カシュガル地区第一人民病院腫瘍センターセンター長 (在カシュガル)

Park Sohyun 朴 昭炫 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (文化資源学): 韓国文化観光研究院文化芸術政策担当責任研究員 (在ソウル)

Porrás Rojas Oscar ボラス、ロハス オスカル [コスタリカ] 男: 東京海洋大学 [博士] (応用環境システム学): コスタリカ大学太平洋岸校副学長 (在コスタリカ、プンタレナス)

Quan Mingai 権 明愛 [中国] 女: 日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学): 十文字学園女子大学人間生活学部講師

Wang Jian Hong 王 劍宏 [中国] 男: 早稲田大学 [博士] (建設工学): (株) 日本工営中央研究所研究員

Ohinata Mine (Yan Hainian) 大日向美音 (顔 海念) [中国] 女: 東京大学 [博士] (国際保健学): (株) 中外製薬医薬安全性本部安全性データマネージメント部

Yaroslav, Shulатов ヤロ斯拉ブ、シュラトフ [ロシア] 男: 慶応義塾大学 [博士] (政治学): 広島市立大学国際学部専任講師 (在広島)

#### [2008 年度奨学生]

Feng Kai 馮 凱 [中国] 男: 東京大学 [博士] (機械工学): 湖南大学機械学院教授 (在長沙)

Hong Yunshin 洪 ユンシン [韓国] 女: 早稲田大学 [博士] (国際関係学): 早稲田大学国際言語文化研究所客員研究員、青山学院大学非常勤講師

Shiohara Vroni Friederike 塩原フロニー・フリデリケ [ドイツ/スイス] 女: 東京芸術大学 [博士] (文化財保存学): トヨタ自動車

Liu Jian 劉 健 [中国] 女: 北京大学/早稲田大学 [博士] (日本語文化): 首都師範大学専任講師 (在北京)

Lkhamsuren, Lkhagvasuren ハムスレン、ハグワスレン [モンゴル] 男: 早稲田大学 (国際関係学)

**Nemekhjargal** ネメフジャルガル [中国 (内モンゴル)] 男: 亜細亜大学 [博士] (経済学): 内モンゴル大学モンゴル学研究中心 (在フフホト)

**Phuong, Kimchhayarasy** プアン、キムチャイヤラシー [カンボジア] 女: 宇都宮大学 [博士] (物性工学) (在東京)

**Song Gang** 宋剛 [中国] 男: 桜美林大学 [博士] (地域文化): 北京外国語大学日本語学部専任講師 (在北京)

**Võrno, Heli-Liis** ヴェルノ、ヘリ リース [エストニア] 女: 学習院大学 (哲学)

**Wang Wei** 王偉 [中国] 男: 千葉大学 [博士] (人工システム): 南京信息工程大学教授 (在南京)

**Xiu Zhen** 修震 [中国] 男: 東京工業大学 [博士] (機械制御システム): カリフォルニア大学サンディエゴ校留学 (在米国)

**Yuk Jaehwa** 陸 載和 [韓国] 男: 武蔵野美術大学 (造形芸術): 武蔵野美術大学非常勤講師

**Zhang Jian** 張建 [中国] 男: 東京大学 [博士] (教育学): (株) ハウスメイト企業開発本部

### [2009年度奨学生]

**Choi Eunseok** 崔 恩碩 [韓国] 男: 国民大学/東京大学 [博士] (日本史学): 駐広島韓国総領事館前任研究員 (在広島)

**Darwishah, Housam** ダルウィッシュ、ホサム [シリア] 男: 東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所

**Kaba Melek** カバメレキ [トルコ] 女: 筑波大学 [博士] (文芸・言語): (在トルコ)

**Kim Youngsoon** 金 英順 [韓国] 女: 立教大学 [博士] (日本文学): 立教大学文学部非常勤講師

**Kwak Youngjoo** 郭 榮珠 [韓国] 男: 千葉大学 [博士] (地球生命圏科学): (独) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 専門研究員

**Kwon Nam-hee** 権 南希 [韓国] 女: 東京大学 (国際法): 関西大学政策創造学部助教 (在大阪)

**Rinchin** リンチン [中国 (内モンゴル)] 男: 東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 内モンゴル大学モンゴル学研究中心 (在フフホト)

**Schicketanz, Erik Christopher** シッケタンツ、エリック [ドイツ] 男: 東京大学 [博士] (宗教学宗教史学): 東京大学大学院人文社会系研究科特別研究員

**Shermatov Ulugbek** シェルマトフ・ウルグベック [ウズベキスタン] 男: 明治大学 [博士] (民法学): ウズベキスタン最高裁判所上席法務官 (在タシケント)

**Son Jounga** 孫 貞阿 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (森林科学): 国立山林科学院森林病虫害研究科 (在ソウル)

**Veldkamp, Elmer** フェルトカンブ、エルメル [オランダ] 男: 東京大学 [博士] (文化人類学): ライデン大学日本学研究所専任講師 (在ライデン)

**Ye Kyaw Thu** イェ チョウトウ [ミャンマー] 男: 早稲田大学 [博士] (国際情報通信学): (独) 情報通信機構 (NICT) ユニバーサルコミュニケーション研究所研究員 (在京都)

**Zhu Lin** 朱 琳 [中国] 女: 東京大学 [博士] (アジア政治思想史): 東北大学大学院国際文化研究科助教

### [2010年度奨学生]

**Phramahāchatpong Katapuñño** プラマハチャッポン [タイ] 男: 東洋大学 [博士] (仏教学): (在米シアトル)

**Choi Jung Eun** 崔 禎恩 [韓国] 女: 東京藝術大学 [博士] (文化財保存学): 韓国国立民俗博物館研究員 (在ソウル)

**Kiatkobchai Siratsanan** キヤアコプチャイ・スィラッサナン [タイ] 女: 学習院大学 [博士] (日本語日本文学): (株) アートボックス (在バンコク)

**Kim Kyongtae** 金 キョングテ [韓国] 男: 高麗大学/東京大学 [博士] (歴史学): 韓国中央研究院研究員、高麗大学非常勤講師 (在ソウル)

**Lee Hyun Bon** 李 賢凡 [韓国] 男: 東京工業大学 [博士] (材料工学): (株) POSCO 研究員 (在韓国全羅南道)

**Li Jun** 李 軍 [中国] 女: 早稲田大学 [博士] (国語教育学): 早稲田大学、学習院大学非常勤講師

**Lu Liang** 盧 亮 [中国] 男: 東京工業大学 [博士] (原子核工学): 中国科学院近代物理研究所研究員 (在蘭州)

**Magid, Evgeni** マギッド、イヴゲニ [イスラエル/ロシア] 男: 筑波大学 [博士] (知能機能システム): イノボリス大学教授 (在ロシア・カザン)

**Mya Dwi Rostika** ミヤ・ドウィ・ロスティカ [インドネシア] 女: 国士舘大学 (政治学): 国士舘大学非常勤講師、アジア・日本研究所客員研究員、大東文化大学非常勤講師

**Vigouroux, Mathias Dominique Yves** ヴィグル、マティアス [フランス] 男: 二松学舎大学 [博士] (中国学): 浙江大学 (在杭州)

**Sakurai Shin (Wang Xin)** 櫻井慎 (王 昕) [中国] 男: 東京医科歯科大学 [博士] (先端医療開発学): ローム株式会社 (在京都)

**Yoon Jin-Hee** 尹 ジンヒ [韓国] 女: お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究): 同志社大学社会学部教育文化学科准教授 (在京都)

### [2011年度奨学生]

**Chong Soonil** 鄭 淳一 [韓国] 男: 早稲田大学 [博士] (アジア地域文化学): 明知大学校邦牧基礎教育大学助教授 (在ソウル)

**Ho Van Ngoc** ホー ヴァンゴック [ベトナム] 男: 千葉大学 [博士] (建築都市科学): 鹿島建設 (株) 建築設計本部

**Kang Moonhee** 姜 文熙 [韓国] 女: 日本社会事業大学 (社会福祉学)

**Kim Eunhye** 金 銀恵 [韓国] 女: ソウル大学/東京大学 [博士] (都市社会学): ソウル大学アジア研究所研究員 (在ソウル)

**Kim Soongbae** 金 崇培 [韓国] 男: 延世大学/慶應義塾大学 (国際政治学): 延世大学校統一研究院研究員 (在ソウル)

**Lee Hyojeong** 李 孝庭 [韓国] 女: 国際基督教大学 [博士] (比較文化): 延世大学韓国文科専任研究員 (在ソウル)

**Li Yanming** 李 彦銘 [中国] 女: 慶應義塾大学 [博士] (政治学): 人間文化研究機構地域研究推進センター、慶應義塾大学東アジア研究所・現代中国研究センター研究員

**Naheya** ナヒヤ [中国 (内モンゴル)] 女: 東京大学 [博士] (地域文化): 内蒙古大学蒙古歴史学系歴史学専攻主任 (在フフホト)

**Park Joonui** 朴 准儀 [韓国] 女: ポストン大学/東京大学 [博士] (国際政治経済): 国立シンガポール大学公共政策大学院アジア・グローバルゼーションポスドク研究員 (在シンガポール)

**Peng Hao** 彭 浩 [中国] 男: 東京大学 [博士] (日本文化研究): 大阪市立大学社会科学系研究院経済学研究科准教授

**Piao Wenying** 朴 文英 [中国] 女: 東京医科歯科大学 [博士] (脳神経病態学): 東京医科歯科大学ポスドク研究員

**Sie Huei-zhen** 謝 惠貞 [台湾] 女: 東京大学 [博士] (アジア文化研究): 文藻外語大学日本語学系助教授 (在高雄)

### [2012年度奨学生]

**Chen Jing-Young** 陳 景揚 [台湾] 男: 東京大学 (文化人類学)

**Choi Seung-won** 崔 勝媛 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (生物科学): 理化学研究所環境資源科学研究センター植物免疫研究グループ特別研究員

**Dale, Sonja** デール、ソニヤ [ノルウェー] 女: 上智大学 [博士] (グローバル社会): 一橋大学社会学部特任講師

**Flick, Ulrich** フリック、ウルリッヒ [ドイツ] 男: ハイデルベルグ大学/早稲田大学 (東アジア研究): カーリン・インターナショナル社 (在ドイツ・アスパッハ)

**Han Lingji** 韓 玲姫 [中国] 女: 筑波大学 [博士] (情報メディア): 東京国際ビジネスカレッジ国際言語コミュニケーション学科講師

**Li Xue** 李 雪 [中国] 女: 筑波大学 [博士] (文芸・言語): (在中国山東省)

**Oh Jungkeun** 呉 正根 [韓国] 男: 横浜国立大学 [博士] (環境リスクマネジメント): ニューヨーク州立保健局ワーズワースセンター研究員 (在米アルバニー)

**Park Hyunjung** 朴 炫貞 [韓国] 女: 武蔵野美術大学 [博士] (造形芸術): 北海道大学高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任助教授 (在札幌)

Rio, Aaron リオ、アーロン [アメリカ] 男: コロンビア大学/学習院大学 [博士] (日本美術史): ミネアポリス美術館日本・韓国美術学会員 (在ミネアポリス)

Sung Kihyuk 成 昔赫 [韓国] 男: 明治大学 (日本文学)

Uzum, Abdullah ウズム・アブドゥラ [トルコ] 男: 東京農工大学 [博士] (情報工学): 兵庫県立大学電子情報電気工学科ポスドク研究員 (在神戸)

Yin Feilong 尹 飛龍 [中国] 男: 東京農工大学 [博士] (機械システム工学): 井関農機 (株)

Zheng Xiu 鄭 秀 [中国] 男: 東京医科歯科大学 [博士] (消化器病態学): 東京医科歯科大学消化器内科学外国人研究者

### [2013年度奨学生]

Aroz, Rafael Aingeru アロツ、ラファエル アインゲル [スペイン] 男: 東京大学 (文化・人間情報学): 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス総合政策学部訪問講師 (招聘)

Choi Gayoung 崔 佳英 [韓国] 女: 東京大学 (社会学)

Hao Liang 郝 亮 [中国] 男: 千葉大学 [博士] (人工システム科学): 天津科学技術大学講師 (在天津)

Hsu Han-Hsiu 許 漢修 [台湾] 男: 筑波大学 [博士] (生命産業科学): 神戸大学科学技術イノベーション研究科学術研究員

Jin Guiying 金 桂英 [中国] 女: 早稲田大学 (日本語教育学): 早稲田大学日本語教育研究センター助手

Lee Saebom 李 セボン [韓国] 女: 東京大学 [博士] (地域文化研究): 延世大学比較社会文化研究所専門研究員 (在ソウル)

Nordström, Karl Johan ノルドストロム、カール ヨハン [スウェーデン] 男: 早稲田大学 [博士] (演劇映像学): 学術振興会特別研究員 (明治学院大学文学部)

Tamayo, Ruiz Efrain Eduardo タマヨ、ルイス エフライン エドアルド [コロンビア] 男: 東京大学 [博士] (先端学際工学): (株) 日立製作所日立研究所研究員

Virag, Viktor ヴィラーク、ヴィクトル [ハンガリー] 男: 日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学): 日本社会事業大学研究員 上智福祉専門学校、昭和女子大学、法政大学、上智大学、首都大学東京非常勤講師。日本社会福祉教育学校連盟事務局国際担当、国際ソーシャルワーカー連盟アジア太平洋地域会長補佐

Xie Pu 解 璞 [中国] 女: 早稲田大学 [博士] (日本語日本文学): 北京大学外国語学院 (在北京)

Zamengo, Massimiliano ザメンゴ、マッシミリアーノ [イタリア] 男: 東京工業大学 [博士] (原子核工学): 東京工業大学物質理工学院助教

Zhang Liang 張 亮 [中国] 男: 慶應義塾大学 [博士] (医学研究): ハーバード大学のブリガム・アンド・ウィメンズ病院神経外科ポスドク研究員 (在ボストン)

### [2014年度奨学生]

Abdin, Mohamed Omer アブディン、モハメド オマル [スーダン] 男: 東京外国語大学 [博士] (総合国際学): 東京外国語大学世界言語社会教育センター特任助教

Cakir, Murat チャクル、ムラット [トルコ] 男: 筑波大学 (教育基礎学): 関西外国語大学特任講師 (在大阪)

Chae Kyeonghoon 蔡 炅勲 [韓国] 男: 東京芸術大学 (映像メディア学)

Gerelchuluun, Ariungerel ゲレルチュルン、アリウンゲレル [モンゴル] 女: 筑波大学 [博士] (疾患制御医学): 筑波大学医学医療系助教

Goginashvili, David ゴギナシュヴィリ、ダヴィド [グルジア] 男: 慶應義塾大学 (政策メディア): 慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員

Hu Yanhong 胡 艶紅 [中国] 女: 筑波大学 [博士] (歴史・人類学): 江戸東京博物館契約職員 (専門調査員)

Kim Taehee 金 兌希 [韓国] 女: 慶應義塾大学 (政治学): 慶應大学法学研究科助教、同法学部通信教育課程非常勤講師

Li Hui 李 暉 [中国] 女: 東京大学 [博士] (建築学): 奈良文化財研究所客員研究員 (在奈良)

Li Ting 李 婷 [中国] 女: 早稲田大学 (日本語教育学): 早稲田大学大

学院日本語教育研究科助手、聖学院大学非常勤講師

Mohammad, Jakfar Idrus ムハッマール、ジャクファール・イドルス [インドネシア] 男: 国士館大学 (政治学)

Ryu Chunghee 柳 忠熙 [韓国] 男: 東京大学 (比較文学比較文化): 東京大学東洋文化研究所特任研究員

Wang Huijun 王 慧雋 [中国] 女: 早稲田大学 (日本語教育学): 早稲田大学日本語教育研究センター助手

### [2015年度奨学生]

Buritica Alzate, Jiliana プリティカ アルサテ、フリアナ [コロンビア] 女: 国際基督教大学 (アーツ・サイエンス)

Cassim, Laila Frances カセム、ライラ・フランセス [イギリス] 女: 東京藝術大学 [博士] (美術): 東京大学先端技術研究センター特任助教

Cho, Guk 趙 国 [韓国] 男: 早稲田大学 (人文科学)

Feltens, Frank フェルテンズ、フランク [ドイツ] 男: コロンビア大学/学習院大学 (美術史考古学): 学習院大学文学部非常勤講師

Giglio, Emanuele Davide ジッリオ、エマヌエーレ ダヴィデ [イタリア] 男: 東京大学 (アジア文化研究): 身延山大学東洋文化研究所研究員

Grib, Dina グリブ、ディーナ [ロシア] 女: 首都大学東京 (人間科学)

Kim, Yullee 金 律里 [韓国] 女: 東京大学 (基礎文化研究): 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター特任研究員

Li, He-Shu 李 穌書 [台湾] 男: 東京大学 (アジア文化研究): 東京大学大学院人文社会系研究科助教

Moon, Kyungnam 文 景楠 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (超域文化科学): 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構初年次教育部門助教

Park, Wonhwa 朴 源花 [韓国] 女: 東京大学 (国際社会科学)

Yan, Shulan 顔 淑蘭 [中国] 女: 早稲田大学 [博士] (教科教育学)

Yang, Yu Gloria ヤン、ユー グロリア [中国] 女: コロンビア大学/東京大学 (美術史)

### [2016年度奨学生]

Chang, Wei-Jung 張 瑋容 [台湾] 女: お茶の水女子大学 (ジェンダー学際研究)

Cho, Ahra 曹 娥羅 [韓国] 女: ソウル大学/慶應義塾大学 (国際地域学)

Choi, Yurina 崔 ユリナ [韓国] 女: 武蔵野美術大学 (造形美術)

Hong, Sung-min 洪 性珉 [韓国] 男: 早稲田大学 (人文科学)

Jeon, Sangryul 全 相律 [韓国] 男: 東京大学 (言語情報科学)

Jiang, Jianwei 蔣 建偉 [中国] 女: 早稲田大学 (人文科学)

Lamsal, Bikash ラムサル、ビカス [ネパール] 男: 足利工業大学 (情報・生産工学)

Lee, Ji Hyeong 李 志炯 [韓国] 男: 千葉大学 (デザイン科学)

Lin, Qian Qian 林 茜茜 [中国] 女: 早稲田大学 (教科教育学)

Morrison, Lindsay Ray モリソン、リンジー レイ [アメリカ] 女: 国際基督教大学 (アーツ・サイエンス)

Nam, Euiyoung 南 衣映 [韓国] 女: 東京大学 (学際情報学)

Noh, Joeeun 盧 ジュウン [韓国] 女: 東京大学 (学際情報学)

以上

# 2015年度の活動にご協力いただいた皆様

～ありがとうございました～

## 奨学および国際交流事業への寄附・賛助

### 団体

(株)アクト・テクニカルサポート	ケミカルグラウト(株)	中外製薬(株)
大和証券(株)	イースト不動産(株)	(株)イリア
鹿島道路(株)	鹿島建設(株)	鹿島リース(株)
鹿島建物総合管理(株)	かたばみ興業(株)	(株)三井住友銀行
大興物産(株)	(株)都市環境エンジニアリング	東亜産業(株)
(株)八重洲ブックセンター		

### 個人

渥美伊都子 藤井純一 井出園子 今西淳子 八城政基

## SGRAの活動支援への寄附・賛助

### 団体

麻生セメント(株)	中外製薬(株)	(株)エックス都市研究所
(株)イリア	カジマ オーバーシーズ アジア	鹿島道路(株)
(一財)鹿島平和研究所	鹿島建設(株)	キックマン(株)
(株)小堀鐸二研究所	米良電機産業(株)	(株)三井住友銀行
中鹿營造股份有限公司	日商良基注入營造股份有限公司	日商全日本空輸(股)台湾分公司
プラス(株)	PT スナヤン TS	大興物産(株)
台湾瑞穂銀行公司	(株)虎屋	(株)山口銀行

### 個人

阿部和彦	足立憲彦	赤池 豊	明石 康	秋山 豪	青木生子
蟻川芳子	麻生 泰	渥美伊都子	渥美恵子	白 智立	包 聯群
チャクル、ムラット		曹 波	鄭 仁豪	高 偉俊	原 嘉男
橋本留理子	畑村洋太郎	星埜弘明	堀田健介	藤井純一	藤田隆則
福島和彦	船本洋治	井手園子	井上博允	石田弘幸	石井茂雄
石山 勉	岩間陽一郎	岩松良彦	岩崎純子	金 政武	カバメレキ
金子 宏	狩野正利	片岡達治	鹿取克章	河村一雄	川崎 剛
金 ミンスク	岸本啓子	小泉博義	小松親次郎	小宮正史	近藤寿治
幸田初枝	工藤 捷	栗原俊記	栗屋志伸	郭 在祐	李 恩民
李 鋼哲	林 少陽	前川麻里	前川昭一	三澤正勝	森本洋史
末永 航	村田雄二郎	長岡美奈	長岡 實	中上英俊	中島 隆
中村順次	中曾根康弘	中曾根弘文	中谷俊信	中澤忠義	並木隆史
野村継男	沼田正博	大日向美音	岡本 章	奥村裕一	大澤雄一
太田美行	大塚 寿	大脇正志	朴 哲主	真辺文宏	佐野みどり
佐藤道信	佐藤直子	瀬谷啓二	ヤロスラブ、シュラトフ		施 建明
島田精一	嶋津忠廣	鈴木雅也	高瀬和彦	高橋 甫	高橋信之
高橋 司	竹田 優	竹本 孝	竹内 忍	瀧沢秀利	谷原 正
田代民治	東城清秀	戸河里 敏	遠山幸三	遠山友寛	角田英一
上野 宏	王 劍宏	王 雪萍	呉 弘敏	武 玉萍	山田俊作
八城政基	葉 文昌	尹 飛龍	横田雅弘	干 曉飛	由田哲也
朱 庭耀					